

スポーツで 地域を 盛り上げます！

復興五輪の
実現に向けて



人間発達文化学類 講師 修士（地域文化）

蓮 沼 哲 哉

HASUNUMA Tetsuya

研究室 URL <https://fukushima-sport-community.jimdo.com/>

〔専門分野〕 スポーツ社会学

【プロフィール】 福島県会津坂下町出身。福島大学大学院人間発達文化研究科修了。10年間、福島県高校保健体育教諭を経て現職。専門競技はトライアスロン。震災時、浪江町の高校に勤務し、震災後、被災地でのスポーツ関連事業に関わる。2020年東京五輪を「復興五輪」とするために被災地でのスポーツイベント開催やレガシー創出に向けて取り組む。

私は、大学に勤務するまで、高校の保健体育の教員をしていました。震災時は浪江町で教員をしており、地震のあったその日も外で練習をしていました。学校は避難を余儀なくされ、前年度インターハイに出場した選手も新潟に避難し練習ができない状況となりました。そしてその年、残念ながらインターハイには出場させることができず、その教え子の目標を達成させることができなかつたという悔しい思い出があります。

震災後、2013年9月に「復興五輪」という名目のもと夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。私は今、トライアスロン競技でこの東京オリンピックを目指す選手の指導をしています。今年は本学に、世

界ジュニア選手権を経験した学生が入学し、「福島大学から世界へ」ということで活動を活発化させています。また、昨年、オリンピックムーブメントを加速化するために学生団体「わだち」を設立し、東京オリンピック・パラリンピックに向け、「福島大学生だからできること」をイベントで実施しています。

東京オリンピック・パラリンピックまでの2年間、福島大学の学生の取り組みが、県内のスポーツ界を発展させて、復興の加速化と地域活性化に繋がり、2020年以降のレガシーとなるような取り組みを続けていきたいと思っています。



研究概要

震災後、2013年9月に「復興五輪」という名目のもと夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。私は今、トライアスロン競技でこの東京オリンピックを目指す選手の指導をしています。また、被災地である福島を元気にするために、学生たちとスポーツイベントの企画運営や地域スポーツクラブの支援をしています。東京オリンピック・パラリンピックまでの2年間、福島大学



の学生の取り組みが、県内のスポーツ界を発展させて、復興の加速化と地域活性化に繋がりが、2020年以降のレガシーとなるような取り組みを続けていきたいと思ひます。

こんなことができます!

スポーツの価値を伝え、スポーツで福島の復興を後押しすること。

想定するパートナー

学校、競技団体、総合型クラブ、体育協会、自治体

具体的な連携、事業化のイメージ

スポーツイベント企画提案・運営、スポーツボランティア

地域産業振興

これまでの取組事例

- ・福島県、東京オリパラ組織委員会と連携し、オリンピック開催に向けた「アイデアコンテスト」開催
- ・東京都、日本アスリート会議との連携による被災地支援事業「復興相双サッカーフェス」開催
- ・各種団体・イベントへのスポーツボランティア活動(小学生体操指導アシスタント、棚倉スポーツクラブ感謝祭、スポーツを通して楽しい仲間づくりと体力づくり、とみおかスポーツフェスタ2018、Jヴィレッジ再始動祈念式典)
- ・第2・3回ユースオリンピック競技大会トライアスロン競技日本代表監督

関連情報

- ・被災地復興のためにスポーツイベントがもたらす影響(2017)
- ・飯館地区仮設小学校に通う児童の体力低下とその改善を担う体育活動支援のあり方に関する研究(2016)
- ・公益社団法人日本トライアスロン連合「強化拠点」が担う地域スポーツクラブとしてのトライアスロンの普及・発展・強化に関する研究(2015)

私たちの研究室自慢!

私たちは地域のスポーツクラブや団体と協働して、スポーツ指導やイベントを企画しています!
子どもから高齢者まで多世代との交流を通して、スポーツの魅力や運動の大切さを伝えています!

